2012年9月29日

価 1部140円(本体133円**干**共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000円 3,500円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい 教会の購読料は負担金に含みます。

の幻に仕えるため、次代の

願うものである。

伝道者が起されること

に分かれ、礼拝と夜のプロ

グラムは全体で行われた。

日目、開会礼拝で大住

った。以下、署。

講演と分団は中高生と青年 名が主に召し集められた。 見据え、そのプレ集会とし

し位置付けられ、日本伝道

発行所 日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546

> 藤 留 幸 編集主筆 竹 澤 知代志 印刷所 株式会社きかんし

FAX03(3207)3918

5年後の宗教改革500年を見据え

会、福音主義教会連合関西 **長老教会協議会、北陸伝道** 全国連合長老会、改革

キリスト教と関係の深い軽井沢の地に青年ら 270 と讚美に心打たれ、 ときとなった。森氏の証し スチャンアーティスト) 者も多かった。 びを確認し、 リストに生かされている喜 讃美するひと 涙する 0

り被災地報告がなされた。 山元克之花巻教会牧師、 沢の地を散策しつつ、交わ 学医師(聖ヶ丘教会員)よ りを深めるときをもった。 竹裕子磐城教会牧師、渡邉 可式・奨励により行われ、 左近豊聖学院大学准教授の 被災を覚えての祈り会が、 2日目には東日本大震災 午後の自由時間は、軽井 上 下、講演をテーマ別に順を レター 追って要約する。 愛してくださっている」。以

みシャレー軽井沢を会場に ど記念する青年大会開催を 17年に宗教改革500年 にめに~召命と派遣~」(ロ この大会は5年後の20 マ12章1節)のもと、恵 全国90教会から中学生31 スト伝道会、eAst21asia 方策検討委員会の後援を受 ムに合流、同委員会と伝道 員会のプログラムであるユ スミッションがプログラ 高校生40名、青年13 北海道から沖縄まで 総務幹事と共に登壇、「皆さ 雄教団総会議長が藤盛勇紀 の讃美と踊りで盛り上がっ 会の冒頭では、石橋秀

台湾から7名、講師・教職 2名、加えて韓国から6名、 引率者を含め総勢270 また会の最後には参加教職 る」と激励の言葉を語り、 んに教団の未来と希望があ がささげられた。 全員のコーラスにより讃美

開催された。

た。夜には森祐理氏(クリ 会主題の意味と姿勢を示し <sup>-</sup>20節)と題して説教、大「神の前に」(マタイ28章16 東京神学大学教授が キリストにより示された神 ス・キリストを救い主と信 教会の門を叩いた。教会の ないのかとの問いを抱き、 死よりも確かなもの」は 青年時代に父を亡くし、

遣」と題して、近藤勝彦東 京神学大学学長の講演があ 青年プログラムでは、「日 なる。「自分探し」、「自己 ない。神を知り、神に知ら るが、自分で自分を見つめ 神の召しを受け止める者と 受け止めることであった。 実現」ということが言われ つないという恵みの真実を すことが出来るものは何 ても自分を知ることは出来 この救いに与った者は、

を知ることにより、私たち 他者との競争に訴えて効率 会」の背後には、召しの喪 かな歩みが生まれる。 されて行くところに、健や

11節)と題して説教。この で、今大会チャプレンの小 ラムを締め括る派遣礼拝 れたときとなった。プログ **倉義明使徒教会牧師が「沖** 意、伝道献身の決意など、 大会を通して、主が、不信 へ漕ぎ出せ」(ルカ5章1~ みを分かち合い、受洗の決 しい献身の決意に満ち溢

**人ひとりが、大会で得た恵** 育てられることを祈る。 出してゆくよう、各地の教 ださった今回の出来事を共 加者一同が、日本伝道さら 会に仕えることを奨めら れ、派遣されていった。参 500年に向けて沖へ漕ぎ に覚えた。さらに宗教改革 かりの恵みを経験させてく に世界宣教を担う器として 松本のぞみ報)

3日目、聖別会では、一

# 日本伝道のために~召命と派遣

の愛から、私たちを引き離 る。主の召しを受け止め、 すべきかを知る。そして、 は、自分が何者で、何をな 神の召しを知らされて歩む 自分を憐れむ必要もなくな

神の国を伝えるために遣わ

仰な者たちに網が破れるば らない。 義、欲望の拡大をもたらす を図る社会を生み、利己主

同体を形成することに他な 生活がある。それは、信仰 で時代の声ではなく神の言 ように、現代も変わってい 栄えを表すために、自己の 独特な倫理を生む。神の御 対して、神の召しは、勤勉、 ことが大切である。それは との神を神とし、そのため ない。キリスト者が、まこ 所の事故対応にも見られる 質は、福島第一原子力発電 神としない時、個人も社会 者の新しい交わり、召命共 行くアスケーゼ(禁欲)の エネルギーの浪費を抑えて きわめて本質的な意味で 葉が語られるために仕える されるだけになる。その性 同体を生む。伝道は礼拝共 に生涯をささげ、礼拝の中 ったように、まことの神を も無責任に、時の情勢に流 社会的な行為」である。 戦時下の日本がそうであ

-と神の国との結びつきが

(嶋田恵悟報)



2日目夜、証しと讃美の集い、 讃美に合わせて檀上で踊る台湾からの参加者 と岸憲秀教育委員長

# 神さまはありのままの私たちを

は、ありのままの私たちを 回目の全体テーマは「神様 中高生グループの講演は2 回に分けて行われた。第1 高橋貞二郎牧師による、 大切。 ラブレターとして読むのが 知るには聖書を神様からの 験を語りつつ、神様の愛を ②神様が愛されるとは、

は価高く、貴く/わたしは 4節「わたしの目にあなた ①聖書は神様からのラブ … イザヤ書43章 語に訳すとき、最初は仏教 る<u>と</u> … はなく「御大切」と訳した でいう煩悩を表す「愛」で 私たちを大切にしてくださ 神の愛を日本

いでは、台湾と日本から証

る神様。 ④私たちを成長させてく ③共にいて守ってくださ

ださる神様 …

人、水野源三氏を紹介しつ

味ではなく、ありのままの 好き嫌いという感情的な意 成長にとって神様が必要だ る困難ではなく、私たちの 乗り越える力を神様は私た とお考え故であり、困難を 時に私たちに困難をお与え になるけれど、それは単な つ、私たちと共なる神様は、 何よ

瞬きの詩 あり、それはハッピーエン なる人生は、天国という私 ドなのだ。 たちの本国に向かう人生で ピーエンド … 神様と共 越えてくださるお方だ。 ⑤私たちの終わりはハッ

ばれ、教会へ招かれた。

②あなたはイエス様に選

本全国、そして世界へと送

様は、私たちを信頼して日

を指すのだ。

ての教会を指すのではな ストを信じる者の集会、団 れた」としてなされた。 伝えるために私たちを招か テーマを「神様は、福音を 第2回目の講演は、全体 ①教会は、イエス・キリ 神様を礼拝するために 教会とは建物とし うが、その背後には、神様、 なったきっかけは様々だろ りが教会に招かれているの であるイエス・キリストの は、神の愛の究極のしるし うお働きがある。一人ひと び、教会へ招いているとい ひとり、教会に通うように ために招かれた … 一人 十字架と復活を伝えるため イエス様が一人ひとりを選 ③私たちは福音を伝える

生が多かったことを最後に が印象的だったと語る中学 思い出として、2回の講演 あった。中高生青年大会の 生の心に深く届いた講演で ーモアを交えながら、中高 生に分かりやすく、時にユ 関わる講師の講演は、中高 という現場で中高生と深く 演を閉じた。 人ひとりの派遣を語り、講 られる、と神さまによる一 日頃キリスト教主義学校

報告させていただく。 (小林信人報)

最後にまとめとして、神

がいなくてはならない。天 されることが重要である。 の本国の香りがする大使館 ベルで生きて行くために、 も民族主義とも異なったレ をこの世に建設すべく、御 と牧会に仕える牧師が起こ 言葉と聖礼典によって礼拝 「天に本国を持つ者たち」 他の仕事も無意味ではな

源泉との結びつき、キリス は、根本的な意味を与える るものと言い得るために いが、それが真に意味があ とがあれば良い。今も、生 違いないと信じている。 け取る人を起こしているに ける神が新たに人を召して の交わりに生きるというと と、その人の献身を喜ぶ人 なく、神の召しに従う信仰が求められているわけでは が必要とされている。 いし、礼拝に仕える伝道者 なければならない。それを おられ、伝道のタスキを受 示す礼拝がなければならな 伝道者には、特別な能力

教

教会の宣教

の将来を考えながら



アジア学院…建物が壊滅、農地も放射能被害を受けたが 回復へ向け着実に

ハート暮らしを余儀なくさ

したこと、石巻エマオの専

は、飯島氏には早急に加藤 ととした。なお、委員から 員会において承認を得るこ

> 500万円、貸付金1、00 び、川俣教会(支援金1、

貸付金700万円)、およ

0万円)への支援を決定し

## 復興の足音が聞こえてきます

支援ニュース・関東教区現況報告

復興計画が、当初の戸惑い 仮害を受けた会堂・牧師館 る予定の水戸中央教会、 計者を決め、どのような ショックから立ち上がっ めているところです。 教会の宣教の将来を考え 今年度中に建設に取り掛 から基本設計の構想をま 着々と進んでいます。 古い会堂を壊して建て りを合わせて資金計画と取 それぞれに知恵を絞り、 %を上限とした貸出金にす の50%を支援金に、後の50 分要綱」に従って、申請額 迫られています。 いますが、これを基準に、 るという原則が立てられて 画の作成には大きな決意を 要しますので、その資金計 新会堂を建設する決意を固 それぞれの教会の新築計 「被災教会支援金配

が充実することによって、 率が6%、7%へと、募金 れていますが、支援金の比 掛かるための資金は保証さ 教会の将来の宣教ヴィジョ さらに安心してそれぞれの 加算されることがあれば、 とりあえず、建築に取り て、教団救援対策本部第14

きます。 って平常の礼拝と教会の活 ンを実現してゆくことがで 牧師家族は牧師館を出てア た教会は、ほぼ改修を終わ 比較的小さな被害を受け 桐生東部教会もしばらく 申請書」の記載内容を検討 の献金が2億2、847万 堂及び牧師館建築資金貸付 6、685円と報告された。 内募金総額が3億8、45 先ず、7月31日現在の国 次に救援対策室から、「会

は、除染や放射能値の測定 れていましたが、6月には 牧師館に戻ることができま 取扱いについて確認したこ プログラムの企画・提案の 従者を決定(飯野久美子氏) の福島の子どもたちの保養

物の開発など地域に先駆け います。 拝と着実に回復に向かって コイノニア棟の完成感謝礼 て取り組み、また9月には

となり、子どもの安全と命 放射能の除染も緊急の課題 は、建物の補修のみならず 幼稚園・保育園のある教会 きず、多大な資金確保に苦 に関わりますので、放置で ます。 られていることを感じてい

児受け入れ、 退園児が相次

祈

栃木、茨城、群馬などの からの支援も含めて、支え

北、奥羽の被災地への物資 遣を行ってきました。 埼玉や新潟地区を中心に東 関東教区は、これまでも

継続的にボランティア派遣

一ぐことによる経営悪化など れも教団の支援体制が整っ の問題がありましたが、こ るところです。海外の教会

東日本大震災から一年半を経て

うな悲しみを共有すること 刺激を受けたり、被災した から生じる心の交流が生ま 励ましを受けたり、そのよ 人たちの前向きの生き方に 参加した人たちが、台湾

からの祈りと支援に心から の教区、地区、教会の方々 速させるために、被災地を めぐるバス・ツアーを計画 感謝しています。 れてきています。 しているところです。全国 これらの動きをさらに加

(関東教区総会議長)

を実施し、仙台と石巻のエ マオの働きに加わっていま



アジア学院…コイノニア・ハウス、9 月に新しい建物が完成予定

# 6 億円を超える 教団救援対策本部第14 回

救援献金

について、文書によって報 の近況や支援活動の現状等 審議事項においては、救

8月6日、教団会議室に

誠幹事からの引き継ぎをし することが必要であるとい の現地に行って顔合わせを てほしい、教団の支援活動 また、救援対策室会議で いる中で、支援に関するル があるのではないかとの意 支援要請が寄せられて来て 見が出され、救援対策室会 ルをもう一度見直す必要 なお、いよいよ具体的な

MALL

扱いに関する抗議への対 子ども保養プログラムの取 議で検討することとした。

ければならないと思う。

援対策担当幹事として新た ナ教会(支援金700万円、 建復興支援として、東北教 について検討し、仙台ホサ 区からの支援申請(8教会) 続いて、会堂・牧師館再

応、NCCからの「原子力 への支援依頼等について協 に関する宗教者国際会議」

教団会議室にて開催する。 雲然俊美報

については、今後の支援計 で、次回会議で扱うことと 次回会議は、8月2日、 また、懸案となっている

いと思うな

当だろうか。▼詩人リル

る(ための)説教」、(た

めの)を補った方が、穏

▼詩人金子

動させる説教をしてはな

一会議

いよいよ具体的になってきた支援要請に いかに応えるか、重さを増す対策本部の働き りたいと思うならば、良 伝えたいと思う者は、良 も全く当て嵌まると思 符合する。▼また説教に らない」。マタイ6章にも 動させる祈りをしてはな い。間違っても、人を感 るように思う。「本当に祈 ちの祈りに全く当て嵌ま 仰については何も知らな 一つではない。▼彼の信 が、この言葉は、私た 祈りをしてはならな

間違っても、人を感動さ 金子光晴の詩は、一つや た。深く感動させられた せる詩を書いてはならな 詩を書いてはならない。 勿論、多分に逆説的 らば、良い 切りに追われつつ、原稿 む以前に、どうにかして る牧師ならば、まるで流 ケは『若き詩人』に次の 葉の宣教は、語る行為で ぶことを止めた人々が教 ドは言った。「現代では学 も知れない。詩人ワイル としているのが、現実か 枡目を埋めることに汲々 行作家並みに、日々締め と。▼まじめに仕事をす るのかを見詰めなさい」 える前に、「本当に書かな えはじめている」。▼御言 い。「良い説教を」「人を を書かなくてはならな くてはならないものがあ い詩をいかに書くかと考 ようなことを言った。良 感動させる説教を」と悩

共に祈り、支えよう!

Let us pray for and support people and the Church together!

### 「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援に向けての具体 的な取り組みを日本基督教団として支援していくた め、祈りと共に「東日本大震災救援募金」にご協力を 下さいますよう、お願い申し上げます。

目標額 10億円(国内のみ)

間 2011年7月1日~2015年3月31日

記

振替番号 00110-6-639331

加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31 2012年9月

教団救援対策本部長 石橋秀雄

視覚障がい者のための

試験方法を検討

回教師検定委員会

り、宮本義弘宣研委員長、

と行われたもの。 作成の経

補教師検定受験者の認

の受験者がいるので、安心

して授乳できる部屋を用意

内容、今後の見通し等

代真砂実同委員陪席のも

ことを承認。

の受験となる見込みである 願書を受け付け、合計70名

もに、時間割と各委員の役 ついて検討し決定するとと

割分担を定めた。乳児連れ

の説明を受けた後、質疑応

することを決定した。

志社、日本聖書神学校、

農

4神学校(関西学院、

員会からの申し入れによ

基礎理論」<br />
をめぐって<br />
懇談

議事に先立ち、「改訂宣教

試験受験志望者14名、正教

師試験受験志望者57名(う

締切等)を決定した。

各学科の筆記試験問題に

験者に関する要綱(連絡、

した。これは宣教研究所委

ち1名はまもなく辞退)の

(3)

しまとめ、送ることを約束

派からの転入志願者1名の とを決定した。また、他教 対して受験票を送付するこ それぞれ行い、全受験者に 定、正教師受験者の確認を

能な範囲でさらに討議し

意見、要望については、

今回の議事の中心は、2

検定試験において面接を試

教

定委員会が、7月30日、31

於:大阪クリスチャン・セ

11 (火) ~13日 (木)

せて検討し決定した。

第3総会期第7回教師検

行われた。委員7名全員出 日、教団小会議室において

備。志願状況について事務

ンター》

組織神学論文、神学論文、

提出課題(釈義・説教、

が届いており、回答書文面

牧会学)の採点結果を確認

直ちに各神学校に送付され

再提出が求められる受

# 祈 りをテ 全国社会委員長会議

議が「3・11.日本基督教 おいて、全国社会委員長会 去る7月23日から24日ま 祈り」というテーマで開 日本基督教団会議室に

東日本大震災直後から現在 願っていたこと」と題して、 策本部長より「教団として

開会した。石橋秀雄救援対 員の司式による礼拝により 第1日目は、上森俊明委

に至るまでの活動報告を受 岡謁也氏)、関東教区(飯 原宗男氏)、東北教区 派遣幹事補佐、奥羽教区(邑 户

事故による放射能汚染な 地震被害、津波被害、原発 塚拓也氏)より発題を受け の道のりは、まだ始まった ど、映像も交えて、それぞ 年半程経過したが、復興へ 題を受けた。ここで共有さ た。ボランティアの現場、 られた場所で復興への取り 台わせて、それぞれの与え ばかりであるということだ れたことは、大震災から1 れが置かれた現場からの発

映像を交えて、現場からの報告を受けた 組みを継続していく必要を

れない事実もあり、正確な 情報を得ていく取り組みも 必要だと感じた。

> みのほか、各地に被害をも 日本大震災に対する取り組 たらしている豪雨災害に対 り組んできたこと」との題 各教区社会委員長より、東 で発題があった。その後、 総幹事より「教団として取 告を受けた。1教区5分と 問題や基地問題に関する報 いう短い持ち時間であった 続的に取り組んでいる差別 する取り組み、各教区が継

交換しやすいプログラムを ようだ。次期全国社会委員 ないと感じる参加者もいた 長会議では、お互いに意見 工夫する必要を感じた。

ることができた。 一方、議論する時間が少

て課題に取り組むために、 とは、教団が祈りを合わせ 有益であったと感じた。 題や報告を分かち合ったこ ざまな分野からの貴重な発 芳澤信委員の祈祷をもっ

との会議において、さま

# 復興に向け祈りを合わせて取り組む り、効率よく意見交換をす を用いた簡潔な報告であ が、各教区の発表は、資料

催された。 会期第5回社会委員会が開 7月2日~25日、第3総 付資料に基づいて、業務報 た。大三島義孝幹事より添 告、常議員会報告を受けた。

教保育所同盟理事会、

総幹事から教団の取り組み

の結果、申し送り事項を加

土佐嶺北 辞(主)安田昌英

辞(主)小原 正

就(代)野村義和

就(主)安田昌英

いて内容を確認した。協議

教師異動

(2012.7.29受按)

て、準備された資料に基づ

第3回総会報告に関

について報告を受け、委員

正教師登録

(上森俊明報)

小泉麻子、小林美恵子、

石丸泰信、川上咲野、

えて総会報告とすることと

について報告を受けた。

第5回社会委員会

に総会報告を受けた。

の陪席があり、宣教基礎理 内容と経緯に関する説明を る礼拝をもって開会した。 論(第1草案)について、 24日は、宣教研究所委員会 受け、意見を求められた。 釜土達雄委員長司式によ

強く感じた。また、報道さ一ていた議案の協議を始め 意見交換の後、予定され

との報告を受けた。 する支援が3件執行された また、東日本大震災関連で、 会堂、牧師館再建計画に対 原田史郎委員より、総会

議事録に基づいて日本キリ 告を受けた。また、森田恭 一郎委員より日本キリスト

員長会議(7月23日~24日 された3総会期全国社会委 らった。また、石橋秀雄教 開催)について、すべての により、東日本大震災復興 委員が感想を述べた。 本委員会に先立って開催 報告者から、十分な備え

はないかと感じた。

め、歴史的なことも含めて にて行う。基地問題をはじ

理解を深め、課題の共有に

協議事項としては、「社会

祈りを合わせて取り組んで

~26日に真和志教会(沖縄)

小金井西ノ台

辞(担)青戸歌子

就(代)小峰

擁

日野原記念上尾栄光

次回委員会は、9月24日

ことにより、復興に向けて、

これらの報告を共有した

いくことを確認できたので

ઇ 2011年度会計決算 波二三夫担当職員よ

団総会議長と内藤留幸教団 次回委員会は9月13日、

> も加えて発行することとし 会委員長会議に関すること 関する協議を行い、全国社 委員会通信」第48号発行に

> > う予定となっている。

恵理也委員の祈祷により閉

辞(主)宇佐美睦朗

河内松原 愛知 下関丸山

辞(主)丸山澄夫

役立てることを目的とし、

沖縄フィールドワークを行

14日に開催予定。 (渡部和使報)

声河



志社大学大学院を修了、 12年7月24日逝去、

消息 治氏(隠退教師)

山教会、芦屋浜教会を経て、 年福山延広教会に赴任、津 05年まで香櫨園教会を牧会 大阪府に生まれる。 52年同 遺族は、

**夏族は、妻・**古河静子さ

89歳 日本女子神学校を卒業、41 山学院女子神学部を、45年愛媛県に生まれる。41年青 相武台教会を90年まで牧会 年日暮里教会に赴任、鹿沼 教会、信濃町教会を経て、

渡辺紀子氏 | (隠退教師)

12年8月13日逝去、9歳。 新居浜梅香就(担)村上貴志 就(主)荻野英夫

目黒原町辞(主)岩居保久志 **清瀬信愛辞(兼担)大塚啓子** 信愛報恩会辞(教)大塚啓子 聖書之友 辞(主)山崎一郎 就(担)松本あずさ 就(担)杉田俊介就(担)片山 敬 就(主)大塚啓子

授乳室の用意など具体的な配慮が求められる

姪·月舘美和子 秋鹿 信徒伝道者異動

宇和島信愛 京都復興 キリスト教教育主事異動 第一種から第二種へ 就河礼子

補教師登録 事務局 報

(2012.6.30受允) (2012.6.25受允) 富士見町 向河原 豊中いわお就(担)神谷 宣 辞(代)八木橋康広 就(代)藤原一二三 就(代)上田容功辞(主)倉橋康夫 就(代)江守秀夫 就(代)小松茂夫 就(担)小泉麻子 就(担)川上咲野 就(主)石丸泰信

就(担)小林美惠子 横須賀上町 辞(主)川染三郎辞(担)二宮めぐみ 就(代)村上貴志 就(主)宮澤恵樹 辞(代)金子信一 辞(担)二宮幸雄

辞(担)山内満寿 飯塚 筑後福島 就(代)奥園 教師隠退 辞(主)橋口 就(代)横山義孝 望淳

就(代)鈴木稔久 辞(代)塚本一正 就(主)塚本恭子 辞(代)山本博之

岩居保久志、川染三郎 今橋 朗、野村和男、 高橋義夫、佐伯幸雄、 吉川幸子、山崎一郎、 隠退より復帰

就(主)餅原研一 辞(担)井口智子

就(主)後藤 慧

小杉尅次、大山 椿憲一郎、藤原一二三 教師退任 教師改姓

辞(代)田中暉彦 就(主)井口智子

五十嵐実季→澁谷実季 教会種別変更

直方 第一種から第二種へ 大村 第一種から第二種へ 小林 第一種から第二種へ

(第三種郵便物認可)

## ボーイスカウトが教会を宿として

### ある日の仙台エマオ

の掃除をする男性一名。この 石を除けたり、瓦礫を片付け の整備を行った。 呂教会婦人会の6名と、食堂 ご婦人たちの姿があった。 大 と、当日の夕食準備に忙しい にりの重労働を強いられる現 つうか。何より、猛暑の最中、 んた。調理場の温度は何度だ 60名分を調理、普段でも40 ば地元紙に依れば33度を超 (が必要と聞く。 この日の気 夕方、仙台エマオを訪ねる お盆休みの時期とあっ

粗末なこと、飲みかけのペッ が指摘された。ゴミの分別が れぞれのリーダー格の人たち トボトルが捨てられているこ ミーティングの終わり、そ ないこと、云々。 他の利用者への配慮が足 エマオ側から、注意事項 自転車利用が丁寧ではな

時の青年であり、普通の青年 ち、そして、「不安一杯でやっ 年なのだ。その青年たちが、 らない者も、良くも悪くも今 希有な体験をし出会いを持 と言われるような、普通の青 と書いても嘘ではない。しか 彼女らの瞳も光り輝いていた 会に通っている者、教会を知 し、普通に「今時の若い者は」 なのだ。彼らの汗は光り輝き、 つまり、参加者は、普段教 当初、初日と3日目は重労

帰路は当然登りになる。

5時頃、70名ほどの参加者

グが開かれた。それ ぞれの場での活動

によるミーティン

た。海岸に向かうのだから、

ている。その上での、重労働

片道1時間半と聞い

地の過酷さを思わずにはいら

れない。現地までの交通は自

ら、前後の段取り、様々な場 定だった。これは、彼らにと 域のお祭りの手伝いをする予 **案配上、結局2日目も重労働** もある。しかし、人事配置の で、力を発揮してきた。自信 ばやお好み焼きを作ることか って得意中の得意技、焼きそ 働に携わるも、2日目は、

と関心させられた。

実現していた。

れ合いの場である『お茶っこ』 く。 味わっていることが伝わって 困難な中にも喜び・充実感を の様子も報告された。一様に、 体操や、その地の住民との触 感想や反省が述べられて 仮設住宅地でのラジオ ったんだ」という言葉を貰っ す」、「またエマオで会いまし たちがいたから、ここに留ま と思います」、「私は必ず来ま て来たが、喜び一杯で帰る」 て来たことも報告された。 ょう」と感想を語る。「あなた 機会があったらまた来たい

加したのは、ボーイスカウト

エマオを拠点にボランティア

8月16日からの3日間、

雨に降られ、びしょ濡れで工

マオに辿り着くという惨憺た

ボーイスカウトの一行が、

**冶動を行うという情報を聞き** 

けて、取材に向かった。参

ないだろう。非常に新鮮に響 誰に対してと特定する必要も の共有だろう。その言葉が「あ がとうございました」。誰が 同で「ありがとうございま た」と、コールする。体験 つの報告が終わる毎に、

地区で、主に民家の庭や畑地

3名の計17名。 荒浜の笹新田 れる大学生が14名、指導者が 町田13団、ローバー隊と呼ば

との日の参加者の中には、

会になった。往復に時間が割

いたエマオからも遠くない教 とあって、宿は当初予定して

夏休み、それもお盆の最中

会ではなくて、大分離れた教

らず働きの場はあるとのこ 年長は74歳の山本将信牧師 の一行があり、青年のみなら 台湾から駆けつけた教会青年 (篠ノ井教会)。年齢体力に依 中高年の姿もあった。最

めて、「良い体験を与えられ

しかし、そうしたことも含

た。感謝です」と振り返る。

使の間に…」がある。 ウルトラ

ものによってであろう。 教に触れてきたことで培われた

もそのひとつだった。

く動かされた。市川氏との仕事

くンファンの間でも傑作に挙げ

ルトラマンシリーズ「悪魔と天

として手がけた、帰ってきたウ

因みに、山本牧師らの東海

られる作品である。

会(江連実牧師)を宿とした。 教区一行は、仙台北三番丁教

という者が多かったが、そこ めて、とても良い体験だった 員が手をつないでの祈りも含 語り、朝夕必ず行われる、全 で寝泊まりし、共に働き共に 13団に話を戻すと、初日は、 (小西望牧師)。教会は初めて さて、ボーイスカウト町田 |砂教会からの10名と一緒に いた。宿は、仙台北教会 が、礼拝堂、集会室のスペー 所謂シックな趣のある会堂だ

使の間に…」もそうだった。 し

活を関東学院

に送った。小学校

思いもある。だが、この時だっ どうであったであろうか、との としてこの世界で働いていたら

ていた。もっと早くキリスト者

の大方の仕事はすでに終わっ た。このときには演出家とし なげられるまで長い時間を要

た。アナトール・フランスが描

から10年以上

に亘ってキリスト

をして通学した。残りの高校生 校1年生まで同じように寮生活 校卒業後は自由学園に入学。高

かし、市川氏がこの作品に込め

にキリスト教的メッセージを強

教学校に過ご

したことは決して

小さなことではない。

像の世界の一線からは退いた いた曲芸師に思いが重なる。映

が、ここに至って、主のために

大学卒業後、映像の世界に進

/捉えることができた。

真船さんが洗礼を受ける前か

を尊敬してきた。真船さんが演 の業界で仕事を続けてきたこと

スト者だった

終戦を迎え小学

一者であることを公にして、こ 真船さんは、市川氏がキリス

に入り、寮か

ら施設内の小学校

に通った。教員、寮母は皆キリ

崎の全寮制の白十字会林間学校

の恵みに浴した。72歳で教会に

を介して教会と出会い、洗礼 後に伝道者として献身する友

学校2年生から、神奈川・茅ヶ

小児結核を患ったことで、小

モリスト者となる以前に手がけ

出した作品の多くは自身がまだ

にものだった。 この 「悪魔と天

の中には、未成年の男女も と狭い、山本牧師は床を直に 下で、いびきを聞き合う。こ 緒に銭湯に入り、一つ屋根の 寝床としたそうだ。 一行8名 **被災地各地を渡り歩いた強者** れも、醍醐味」とは、流石に 人ずつ。「一緒に汗を流し、 ここは、二つ併せてもちょっ 様にし、寝袋で休む。しかし、 長椅子を併せて、ベットの仕 に宿を提供した多くの教会で 〈は広くはない。 ボランティ われているように、二つの

らキリスト教に心動かされてき

ちょっと堅苦しい話で恐縮です

んだ。キリス Athen Mandahan Mandah △教、キリスト者 という思いはいよいよ深い。

ここで明らかなように、教団総 ています。

の最高責任者であるのに対して、 総幹事はその決議機関での決定事 議機関(教団総会・常議員会など) ことは全国1720教会を配慮し 会議長が教団を代表し、審議・決 総幹事として私が心がけてきた

ではがきを出すことです。また当 て日々祈り、一日一教会のペース 日本大震災救援には特に気を引き 深めてもらうよう努めました。東 教の一翼を担っているとの自覚を 年金局・部落解放センターで重要 な職務を分担して働いている幹事 然のことですが事務局や出版局・ や職員たちにも配慮し、教団の宣

巾川森一氏の脚本によって監督 思い出深い作品のひとつに 真船 禎さん

主のために



1933年、東京生まれ。演出家 (日本映画監督協会)。 麻布南部 坂教会員。

人との出会





上から、毎夕の報告会、 全員手をつないでの祈 り、調理場で働く大宮教 会婦人会。下は、左から 佐藤真史エマオ専従者、 高橋爾清水教会牧師、柴 田師、山本師

る者、キリスト者、そうでは である、被災した者、救援す オのスタッフは勿論、多くの 師 (兵庫教区被災者生活支援• 指導していたとは記さない。 た…彼らの意を汲んで敢えて 教職が若者と一緒に働いてい 長田センター)の顔も。エマ エマオの活動の目的の一つ 報告会の席には、柴田信也

条から始まり、まず教団総会議長 は常設委員会・特設委員会規定と の総括行為。次いで40条~49条に 条~5条まで続いています。 部落解放センター、などの業務機 れています。更に総幹事の所轄の なり、50条に総幹事規定が述べら 教務機関についての規則です。 っています。その教規の第2章は 秩序(法)を教憲・教規としても り託された権能行使にふさわしい が…日本基督教団は主キリストよ 39

す。その中には 教務と事務のす のです。要する 項を実施する執

する大切な使命をもっているので 会や諸団体との協力推進も含まれ 海外のキリスト教 べてを円滑に遂行

に総幹事は教団の 行機関の<br />
責任者な 務めって

締めて取り組んできました。お祈

教団総幹事 内藤留幸)